

ホンサナエ

兵庫県：B

Shaogomphus postocularis

環境省：—

種の概要

腹長33～36mm、後翅長29～32mm程度。体色は黒色で、胸部および腹部の背面と側面に黄色斑がある。他のサナエトンボ科のどの種よりもずんぐりした体型をしている。平地から丘陵地の河川中下流域に生息する。成虫は4月～6月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、たつの市、猪名川町、市川町、神河町、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			○

特記事項

一時期ほとんどの生息場所が失われたかに思われたが、その後、何カ所かで生息地が発見されたので、AランクからBランクに変更した。しかし依然として河川改修、特に浚渫の影響をもろに受ける種である。また水質の悪化にも弱いように見える。生息地保全にはこういった点を十分配慮する必要がある。

保護上の留意点

生息地に堆積する砂泥を一気に取り除かないようにする。